

カラスノエンドウで遊んだよ！

みどりぐみ（年中組）になり、気の合う友達や同じ遊びをしたい友達と集まるようになりました。

ある日、園庭で遊んでいた3人組はカラスノエンドウをたくさん集めて袋に入れていました。次の日も園庭でカラスノエンドウを集めると、「見て！お豆見つけたの！」と室内で遊んでいる友達にも教えてあげました。すると、室内で遊んでいた子ども達も園庭に出てきましたが、上手く見つけられません。「どこにあるのかな？」と探していると、3人組はさすが先輩！「こっちにあるよ〜！」と教えます。そしてみんな夢中で集まりカラスノエンドウを取りました。みどりぐみの子どもたちはなんでもたくさん集めて喜びます。たくさん集めて満足すると、今度はそれを利用して遊ぶことを考えるのです。

↓カラスノエンドウを集めていた3人



たくさん集めることを楽しんでいました。↑



ねぎ入り納豆ご飯
どうぞ

←どんぐりと水と砂で作った納豆ご飯に、
ねぎに見立てたカラスノエンドウをのせて

↓ 皮をむいて中身を出してみると！ ↓



皮をむいたら中から
お豆が出てきたよ！



コロコロしていて
ゆきちゃん（うさぎ）
のうんちみたい

面白い
発想ですね

こんな考えも出てきました！

ここに水を入れると
どうなるかな？



「やってみようよ」と先生が声をかけると、
走って水道に向かい、水を入れていました。
（やりたいことはどんどんやってみればいいの
に……。まだ先生のこの一押しが必要なの
ですね。）

水の力で豆がむけるかな？
このままにしてみよう

それぞれこんな風に考えていました。
遊びの中から、子ども達なりに様々な考えが
出てくるのだなと思った場面でした。

園庭や道ばたに生えているカラスノエンドウ、
子どもたちにとっては「小さなお豆」、とても
不思議で親しみやすい植物です。
遊びの中で感じたことを大切に育んでいきたいです。



水を入れたら浮かんた！
（カラスノエンドウが）